

新内科専門医制度

令和4年度版

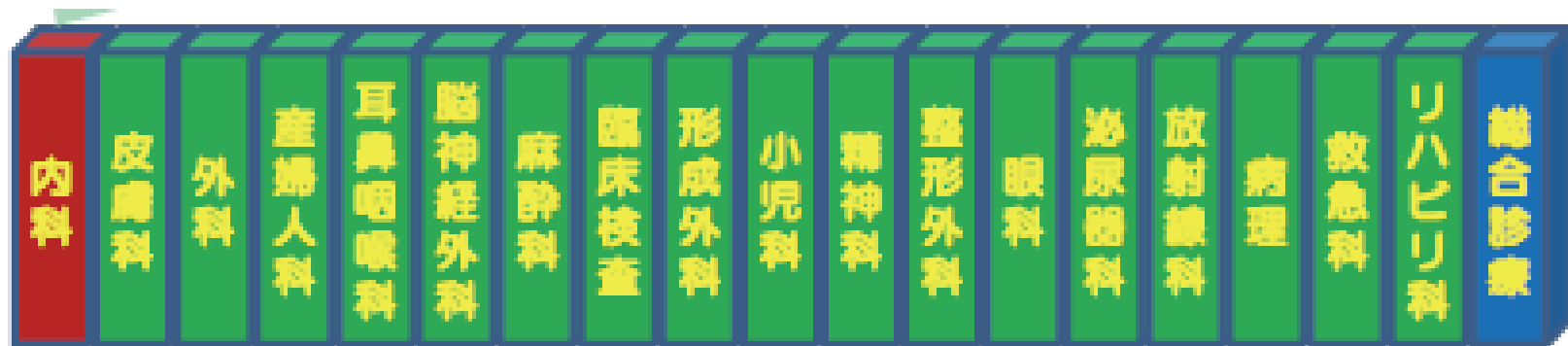
中部ろうさい病院 内科専門研修プログラム



募集人員 7名

新・内科専門医制度

(新)内科専門医は19の基本領域専門医の一つ
従来の「内科認定医」と「内科専門医」が再び統合された



基本領域専門医(従来18基本領域の専門医制度と総合診療)

内科専門医を取得するには(基幹)研修病院において 以下を研修することが必須

必須履修項目(症例登録)

- 修了認定には、主担当医として3年間で内科全分野を **70 疾患群**に分類して、最低 **56 疾患群**の中から1症例以上受け持ち、計 **160 症例以上**を経験し登録(外来症例は 1 割まで含むことができる)
- 到達目標は**70 疾患群 200 症例**
- 初期研修医症例 必須症例の1/2が認められる
 - 症例登録80症例、病歴要約14症例まで認められる

病歴要約提出

- 専攻医2年次修了時までに**29症例**の病歴要約提出を行う
- Web登録:**J-OSLER**

JMECC

- **内科系ICLS研修**

令和4年度内科専攻医プログラム

中部ろうさい 定員 7名

- 基幹施設である中部労災病院において
- 専攻医1年次より原則12ヶ月全科ローテーション研修
 - 内科系6部門2か月x 6
 - 消化器、循環器、呼吸器、代謝・内分泌、神経、腎臓・リウマチ膠原病
- 異動研修：連携施設における研修
 - 原則1年
 - 地域医療
 - 当院にない専門科研修(例：血液内科)
 - 希望科研修

令和4年度専攻医採用試験日程

- **第1回 9月16日(木)17時半**
- **第2回 9月30日(木)17時半**
- **上記日程を予定しますが、都合がつかない場合はご相談下さい:詳しくはHPを参考にして下さい**
- **希望する研修方式を含めて柔軟に対応を検討いたしますので、不明な点はどのような点でも気軽にお問い合わせ下さい**

問い合わせ先 内科プログラム責任者 丸井伸行

marui.cvm@chubuh.johas.go.jp

中部ろうさい病院プログラムの特徴①

- ・当院プログラム定数は7名に決定しました
 1. 志望科に加え、内科全般の臨床能力を育成します
 2. サブスペ重点研修を可能にします
 3. 地理的に比較的コンパクトな範囲に連携病院を多数有し、自由度の高い異動研修が可能です
 4. 関連大学は名古屋大学に加えて藤田医科大学、愛知医科大学と連携します
 5. 労災病院グループの関東労災病院とも連携します

中部ろうさい病院プログラムの特徴②

- **各科ローテーションコース**と希望専門領域に重点をおいた**サブスペ重点コース**を準備します
- 研修実績に基づき、同時に複数科症例を経験することにより、内科専門医取得に必須の症例経験を習得し、サブスペ重点コースを選択可能とします
- 内科専門医研修中に経験した症例は将来選択するサブスペシャルティ領域の専門研修の症例としても認められます（連動研修）
- 初期研修中の症例も審査の上、内科専門研修症例として認定します

サブスペ重点研修

- 内科全分野における研修目標は内科ローテーション研修と同等
- 初期研修時の担当症例ならびに内科専攻医研修開始後の担当症例数を評価してローテーション設定し、サブスペ重点研修を可能とする

当院プログラムについて:

呼吸器内科志望 ローテーション研修(例)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	消化器		循環器		糖尿病・代謝内分泌		神 経		腎臓・リウマチ膠原病		呼吸器	
	外来研修											
	救 急											
2年目	呼吸器内科						名古屋医療センター					
	Subspecialty 研修											
	選択内科ローテーション・調整期間											
3年目	旭労災病院						呼吸器内科					
							Subspecialty 研修					
							選択内科ローテーション・調整期間					

- ・ 従来の内科研修方式。全科各2ヶ月ずつローテーション
- ・ 必須症例確保のために、一部並行研修を検討中
- ・ 連携施設研修に関しては、原則12ヶ月(6ヶ月基幹クラス病院、6ヶ月地域中核病院など)を予定

当院プログラムについて:

リウマチ膠原病科志望 サブスペ重点研修(例)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	腎臓・リウマチ膠原病		呼吸器		神 経		循環器		糖尿病	消化器	腎臓・リウマチ膠原病	
	外来研修											
	救 急											
2年目	腎臓・リウマチ膠原病						大同病院					
	Subspecialty 研修											
	選択内科ローテーション・調整期間											
3年目	関東労災病院						腎臓・リウマチ膠原病					
							Subspecialty 研修					
							選択内科ローテーション・調整期間					

- 希望科を中心にローテーションを行う
- 初期研修時の担当症例ならびに内科専攻医研修開始後の担当症例数を評価して、サブスペ重点研修を開始する
- 必須症例確保のために、並行研修を検討中
- 連携施設研修に関しては、原則12ヶ月

総合内科外来=週1回の初診外来を担当

月	火	水	木	金
29	30	31	1	2
9 神 梅村 専攻医4 神 近藤 5 消 児玉	12 呼 松下 久賀（総内） 専攻医3 永瀬宏	2 呼 松尾 専攻医3 前田 臨時1 2 4 年次② 三林	30 消 土屋 専攻医3 服部	10 消 宿輪 専攻医4 循 寺島
5	6	7	8	9
7 糖 今藤 専攻医3 服部	16 腎・リ 村井 久賀（総内）研修指導 専攻医4 循 寺島	丸井 専攻医4 腎 永瀬	専攻医4 神 大河内 松前（糖・総内）	11 循 篠田 専攻医4 呼 都島
12	13	14	15	16
15 循 長尾 専攻医3 松口	20 腎・リ 山本 久賀（総内） 専攻医3 菅井	27 呼 竹山 専攻医3 天野	伊藤（総内） 専攻医3 妻	17 循 原田一 専攻医3 石川
19	20	21	22	23
14 神 上條 専攻医3 菅井	28 循 片岡 久賀（総内）研修指導 専攻医3 光崎	丸井 専攻医4 腎 永瀬	専攻医3 妻 松前（糖・総内）	24 循 松永 専攻医4 呼 都島
26	27	28	29	30
18 糖 田中 専攻医3 松口	12 呼 松下 久賀（総内） 専攻医3 光崎	25 循 手嶋 専攻医3 天野	昭和の日	29 呼 高橋 専攻医3 石川

- 8年目以上の内科指導医とペアになり、外来診療を担当。
- 毎週金曜の総合内科カンファで、指導医と内科専攻医が集まり、症例の振り返りを行う。
- 発熱外来がある時は、1日3診体制。

総合内科外来 振り返りカンファレンス

- 総合内科外来で**迷った症例**や**勉強になった症例**を持ち寄り、週1回カンファレンスを行なっています。
- さらに知識を深めるために、専門家の先生に講義をお願いしています。
- 志望科に偏ることなく、内科医としての力をつけることを目標としています。



当院の診療実績

表. 中部労災病院 診療科別診療実績(2020 年度実績)

診療科	区 分	入院患者実数 (人/年度)	外来延患者数 (延人数/年度)
糖尿病・内分泌内科		494	20, 021
呼吸器内科		1, 254	10, 400
腎臓内科		1, 137	17, 357
リウマチ・膠原病科		573	10, 196
消化器内科		1, 510	14, 695
循環器内科		1, 204	13, 697
神経内科		731	11, 236
総合内科(一般)		37	5, 779
救急部		※再掲(2, 803)	※再掲(6, 783)

当院および連携・特別連携施設の指導医数

	病院	病床数 (歯科病床を除く)	内科系 診療科数	症例 指導医数	(症例指導医のうち) 総合内科 専門医数	剖検数
基幹施設	中部労災病院	556	11	27	18	7
連携施設	名古屋大学医学部附属病院	1080	9	64	97	11
	愛知医科大学病院	900	11	91	40	12
	藤田医科大学病院	1435	12	56	55	18
	名古屋医療センター	726	11	28	15	10
	名古屋第一赤十字病院	852	7	32	28	22
	関東労災病院	610	10	23	21	4
	東名古屋病院	329	6	13	12	6
	総合上飯田第一病院	236	8	7	4	—
	名古屋セントラル病院	198	7	12	6	4
	旭労災病院	250	7	10	8	10
	豊田地域医療センター	150	5	7	2	0
	中東遠総合医療センター	500	8	14	12	5
	大同病院	404	13	1	0.75	0
	公立陶生病院	633	10	22	25	13
	半田市立半田病院	499	7	14	12	13
	常滑市民病院	267	6	5	6	5
	久美愛厚生病院	300	142	9	4	2
	名古屋徳洲会総合病院	350	6	8	7	14
特別連携施設 (地域密着型 病院)	臨港病院	142	1	—	—	—
	亀井内科・呼吸器科	—	2	1	1	—
	三つ葉在宅クリニック	—	1	—	—	—

連携施設・特別連携施設

• 連携施設

- 名古屋大学医学部附属病院
- 愛知医科大学病院
- 藤田医科大学病院
- 名古屋医療センター
- 名古屋第一赤十字病院
- 大同病院
- 陶生病院
- 東名古屋病院
- 名古屋セントラル病院
- 総合上飯田第一病院
- 中東遠総合医療センター
- 半田市立半田病院

- 常滑市民病院
- 久美愛厚生病院
- 関東労災病院
- 名古屋徳洲会病院
- 旭労災病院
- 豊田地域医療センター

• 特別連携施設

- 臨港病院
- 亀井内科・呼吸器科
- 三つ葉在宅クリニック

充実した内科専攻医 他院からも研修に来てくれています

2021年度

院内

	4月	5月	6月	7月	8月	9月				
3年次	呼吸器		糖尿病							
3年次	糖尿病		循環器							
3年次	腎リウマチ			消化器						
3年次	腎リウマチ		呼吸器							
3年次	神経		腎リウマチ							
3年次	消化器			糖尿病						
3年次	循環器		神経							

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5年次	消化器							大同病院(血液内科)		大同病院(消化器内科)		
5年次	呼吸器											
5年次	循環器											
5年次	大同病院(消化器内科)				大同病院(血液内科)			消化器				
5年次	大同病院(腎臓内科)			関東労災病院(感染症内科)				腎リウマチ				
5年次	名古屋医療センター(血液内科)			豊田地域医療センター(総合内科)				呼吸器				
4年次	腎リウマチ											
4年次	循環器							中東遠総合医療センター				
4年次	糖尿病											

院外

5年次
4年次
4年次
4年次
4年次
4年次

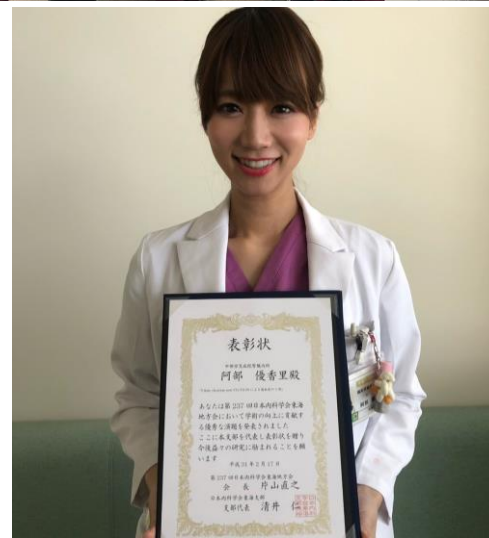
愛知医大
第一日赤
第一日赤
第一日赤
名古屋医療センター
関東労災病院

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
呼吸器											
呼吸器											
神経											
						神経					
						腎リウマチ					
						腎リウマチ					

内科専攻医 総勢22名
外科系も合わせると30名以上

チーフレジデント 前田優香里先生

- 私は2年間の初期研修後、引き続き当院で研修をさせていただいており、今年はチーフレジデントにつかせていただいています。
- 私が内科ローテーションを経て感じたことは、どの科の先生も教育熱心に指導してくださり、志望科だけでなく内科全般を幅広く学ぶことができました。また、一般内科入院症例や各科の症例を主治医としてみることで遥かにステップアップできたと感じました。
- 今年は内科専攻医1年目が7名、2年目が3名おり、それぞれ志望科が異なるため、勉強会では意見を出し合ったり、お互いに補い合いながら業務に励めることができ、切磋琢磨しながら楽しく仕事できています。



専攻医のコメント1 永瀬宏哉先生

- ・ 初期研修から現在まで中部労災病院で研修をしています。
- ・ 興味深い症例や珍しい症例を優先的に若手に振り分けようという雰囲気もありながら、一般内科入院の症例も豊富でspecialistとしてもgeneralistとしても成長できる環境だと日々感じております！
- ・ また、私の志望科の腎臓リウマチ科では外部の著明な先生方に実際自分が担当している症例を相談させていただいたり、レクチャーをしていただいたりする機会があり他では得難い経験をできています！



異動研修に来ていただいた先生のコメント

松井綾香先生(名古屋第一赤十字病院)

カテ室にて

朝カンファ後



こっそりカテ室にて

PIZZA！！



- ・ 4月から異動研修させて頂いております。
- ・ 先生方が優しく熱心に御指導下さり、学びの多い日々を過ごしています。
- ・ 症例も幅広く経験することができ、手技も積極的に参加させてもらえるのでとても有意義な研修になっています。
- ・ 循環器内科医としてのスタートを当院でできて本当によかったと思っています。半年間で学んだことを生かして今後も頑張ろうと思います。ありがとうございました！

屋根瓦式の中核を専攻医が担っています

スタッフ

専攻医の相談を受け、サポート
内科初診外来で、専攻医の指導を行う



専攻医

3-5年目
チーフレジデント制
全ての専攻医が研修医教育に携わる体制



初期研修医

専攻医とともに症例を担当できる体制
特に総合内科症例については、初期研修医が主体的に診療を行う

研修医教育への参加

- チーフレジデントを中心に専攻医が初期研修医の教育を積極的に行っています。
- 火・木曜の「**臨床推論カンファレンスの司会**」、「**木曜朝のERカンファレンス**」を専攻医主体で行なっています。
- 教えてもらうことに加え、人に教えることも医師としての成長につながると考えています。



↑ 内科専攻医の先生が、初期研修医の先生に講義している様子。MKSAPを題材にしています。

臨床情報へのアクセス

【文献検索】

(令和 3 年 4 月 1 日現在)

- メディカルオンライン（国内）
- MEDLINE with Full Text
- Science Direct（病院版）他
- Medical Finder

- 静かな環境で24Hオープン
- インターネットも完備

【臨床情報ツール】

- Up to Date（サイトライセンス）
- DynaMed
- Clinical Key
- Procedures CONSULT（日本版）



- 密度の高い内科研修を目指します
- 総合力を有し逆境に強い内科医を育成します
- 是非当院プログラムを検討下さい